



心臓の急性期治療で“不毛”の地だった鹿児島県鹿屋市で高い評価を得ている鹿屋ハートセンター。この地で医療過疎と戦う新井英和院長の熱い思いと、高度な治療を支え、効率的な診療所経営に大いに威力を発揮しているセコムユビキタス電子カルテについてお話しをうかがいました。

「システム全体の親和性が高く、シームレスな動きがすごく良い。診療や運営の効率化に、この電子カルテは欠かせません。」

鹿児島県鹿屋市 鹿屋ハートセンター
新井英和 院長 プロフィール
 奈良県立医科大学卒業。心臓カテーテル治療の第一人者として、湘南鎌倉病院、福岡徳洲会病院、大隅鹿屋病院で治療施設の立ち上げを行う。鹿屋市では市内95箇所のすべての公民館で心臓病に関する講演を行うなど、精力的な活動もしている。

いちど灯した“火”を守るために。

ここ鹿屋は、鹿児島県第二の市街地でありながら、心臓の急性期治療施設がない地域でした。そこで勤務医時代に、私が志願してこの地に来て、治療を根付かせました。その後、独立して開業しようとした時、私がこの地域でいちど灯した心臓の急性期医療という“火”は、やはり消したくないと強く思いました。その一心が「鹿屋ハートセンター」を開設した大きな理由です。

ただ、県で第二位の地域とはいえ、九州の最南端ですから患者様の数はそう多く見込めません。その一方で、心臓の治療はCTなど大規模な設備が欠かせません。たとえ患者様が少なくても、充実した設備を備え、維持しながら、治療を行うためには、徹底的な効率化が必要です。そこで私が着目したのが、セコムの「ユビキタス電子カルテ」です。

GE社製の検査画像が“サクサク”と。

いま、医師が書かなければならない書類はどんどん増えていきます。私の場合、入・退院の計画書や検査同意書、要介護の意見書などがありますが、そのたびに患者様の情報や必要となる画像や検査データを添付しなければなりません。そうした業務も、この電子カルテがあればすぐに必要な情報を取り寄せ、膨大な書類作成も一人で効率的に行えます。

特にセコムの電子カルテは、当院で導入しているGE社製の検査機器との相性が非常に良く、この点でも効率化に大いに役立っています。CT、アンギオ、エコー、心電図など、検査機器からの画像取り込みがスムーズで、

“サクサク”と画像を扱うことができ、ストレスなく書類作成ができます。この電子カルテもGEの画像システムもどちらもWebベースのため、親和性に優れているのではないのでしょうか。

その他、Webの環境とパソコンがあれば導入でき、診察室や病棟や自宅などから必要な時に必要な情報が瞬時に呼び出せます。加えて、インシャルコストが抑えられる点、カルテ庫などの物理的なスペースが不要となりその分を効率化できる点など、まだまだ多くのメリットがあります。

インターネットだからその可能性。

開院してまだ5カ月ほどですが、私一人で心臓カテーテル治療はすでに70件ほど行っています。この診療域では異例ともいえるほど多い数字で、私自身もこれだけの患者様を治療できるとは思ってもみませんでした。また開院1ヶ月目から利益を出すなど、経営面でも順調に推移しています。

この成功の要因は、すべてセコムの電子カルテにあります。治療の現場から病院運営に至るまで、徹底的に効率化できたことが大きいと思っています。

インターネットはこれまで、ビジネスのやり方を大きく変えてきました。今度は医療の現場で、セコムの電子カルテのようなインターネットを活用したツールが、診療所や病院の運営を大きく変えてゆくのだと思います。患者様が決して多くなくても、この電子カルテのおかげで当院は心臓の急性期治療を実現することができました。過疎医療だけでなく、都市部での新たな診療の可能性なども、この電子カルテは実現してくれるのではないのでしょうか。それだけのポテンシャルがあると思います。

セコムのデータ・セキュリティが守るASP型「セコム・ユビキタス電子カルテ」お試しは下記アドレスへ。

<http://medical.secom.co.jp/>

その他、医事システム、PACS、健診システム、自動再来受付システム、リスクマネージメントシステム、携帯Web診療予約システムなど、多彩にラインアップしています。お問い合わせはホームページの他、下記までお気軽にお寄せください。ソリューション部(東京) TEL. 03-5775-8181 / ソリューション部(大阪) TEL. 06-6394-9125

理想の医療を追求される方に、最新のシステム・情報・サービスをお届けしています。 **セコム医療システム株式会社**